

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名 港区

学 校 名 池島小学校

学校長名 小山勝一

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・池島小学校では、第6学年 18 名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

大阪府の結果と比較すると、平均正答率は国語－23%、算数－24%下回っている。国語では正当数半分以下の児童は66.8%、算数では72.3%であり、正当数分布は大きく左に偏っている。愛着に課題のある児童が多く在籍する本校では、児童の自己肯定感を高め、何事にも積極的に挑戦し、粘り強く取り組む姿勢を育てるために指導者は日々肯定的な声掛けをしている。また、児童の実態を見極めながら個別最適な授業づくりに努めている。しかし、自ら進んで学習に取り組もうとするマインドにはムラがあり、それは設問21にあるように帰宅後の学習時間が十分でないことから伺える。学習することの意義を知り、学習することが楽しいと思えることが必要であると感じる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

思考力・判断力・表現力等の「読むこと」と知識及び技能の「我が国の言語文化に関する事項」に関する問題は全国との差は小さい。これは、数年にわたり本校が読書に力を入れてきたこと、第1ブロックで取り組んでいる漢字検定への学習の成果と言える。しかし、記述式の問題の正答率は低く、自分の考えを文章で表現する力に課題がある。

〔算数〕

本校では日々の授業の中で、デジタルドリルを積極的に活用している。また、ブロック予算で購入した学習ドリルの活用したり、各学年の児童の実態に合わせた補習の時間を計画的に実施したりしている。その成果が少しずつ現れ、知識・技能の問題の正答率は上昇傾向である。しかし、思考力・判断力・表現力の特に記述式の正答率は全国平均との差は大きい。

質問調査より

生活面に関しては、自己肯定感を向上させるここ数年の取り組みやいじめは絶対にいけないことだという徹底した指導が成果として表れている。それらが自信や安心な気持ちとなり、設問16「学校に行くのは楽しい」に繋がっていると考えられる。学習面に関しては、設問27にみられるようにICT機器を積極的に活用している。プログラミング学習やデジタルドリル、スライド作成、調べ学習のツールとしてなど、様々なかたちで使用していることにより、児童にとってICT機器はとても身近なものとなっている。さらに、設問29・30・33・35から、学習することに対して前向きな姿勢であり、学びを深め、それらを他者に伝えたり、実生活に生かそうとしていることが見て取れる。

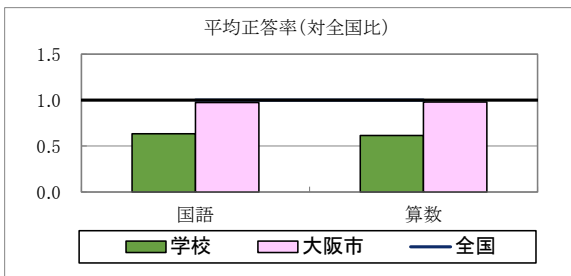
今後の取組(アクションプラン)

大阪市教育振興基本計画の最重要目標の一つである「未来を切り拓く学力・体力の向上」を実現するために、本校の実態に応じた「主体的・対話的で深い学び」を実施していく。具体的には、児童自身が学習單元ごとに見通しを立て、児童同士で相談し、自分に合った学習方法を探っていく自己調整学習を全学年で行っていく。一年生から六年生まで一貫した授業形態をとることで、着実な学習の上積みが期待できる。そこに、「ブロック化による学校支援事業」により進めている漢字検定、学習ドリル、専門家の招へいなどをこれまで通り行っていく。さらに、学力向上サポーターを活用した放課後学習「池島タイム」の内容の充実、教員の指導力向上のための校内研究、ICT機器の効果的な活用、読書タイムの実施なども継続する。これらの取り組みを通して、児童が充実感・達成感を得られるようにしていく。

【 全体の概要 】

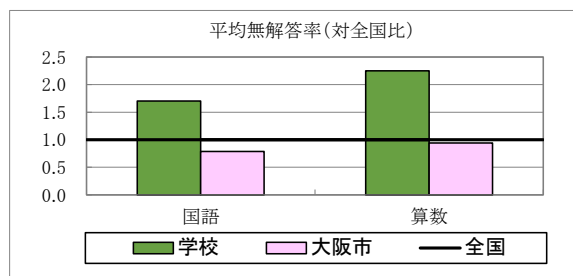
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	43	39
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4



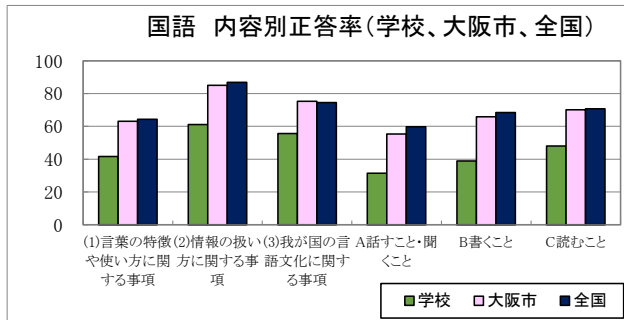
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	7.2	7.7
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4



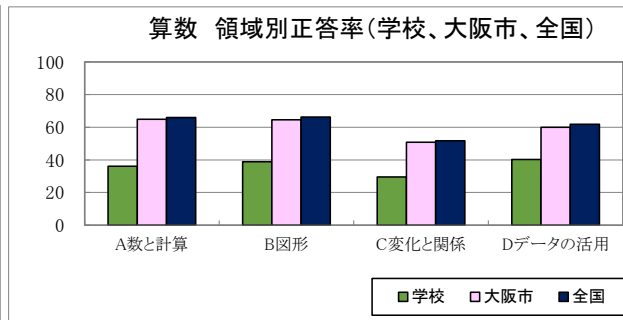
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	4	41.7	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	61.1	85.0	86.9
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	55.6	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	31.5	55.3	59.8
B 書くこと	2	38.9	65.9	68.4
C 読むこと	3	48.1	70.1	70.7

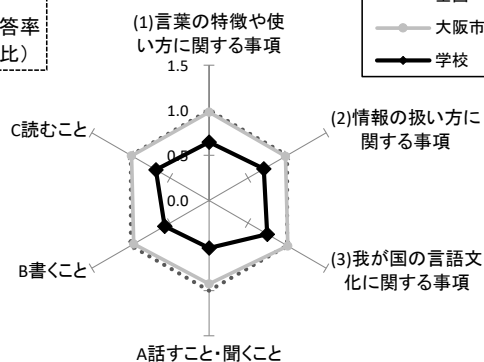


【 算 数 】

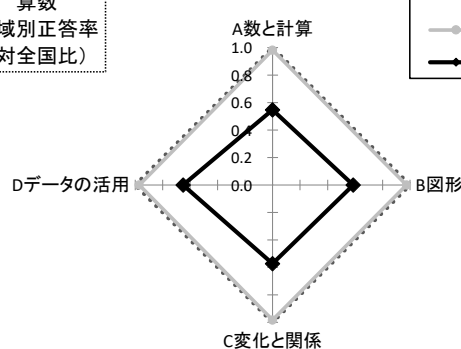
学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	36.1	64.8	66.0
B 図形	4	38.9	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	29.6	50.8	51.7
D データの活用	4	40.3	60.0	61.8



国語 内容別正答率 (対全国比)



算数 領域別正答率 (対全国比)



児童質問より

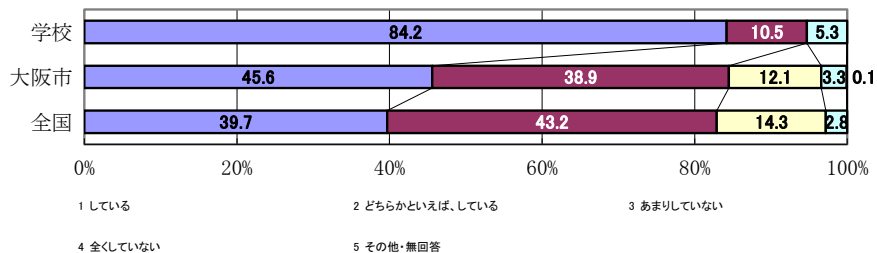
質問番号

質問事項

2

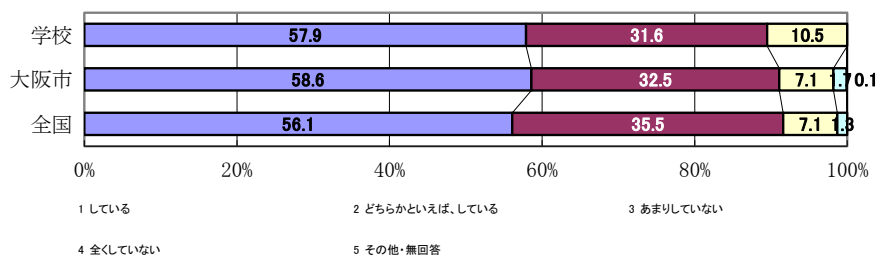
毎日、同じくらいの時刻に寝て
いますか

1 2 3 4 5 6 7 8



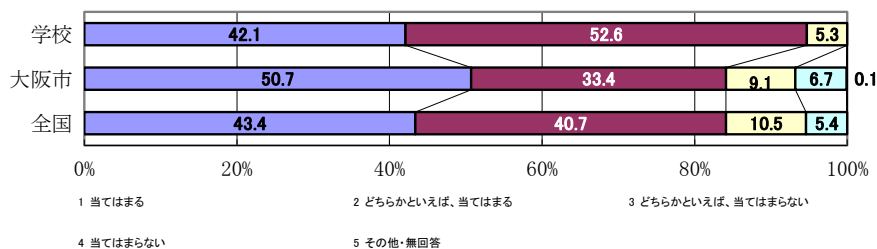
3

毎日、同じくらいの時刻に起き
ていますか



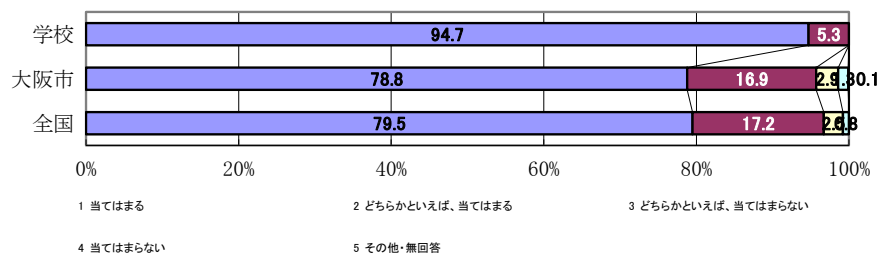
9

自分には、よいところがあると思
いますか



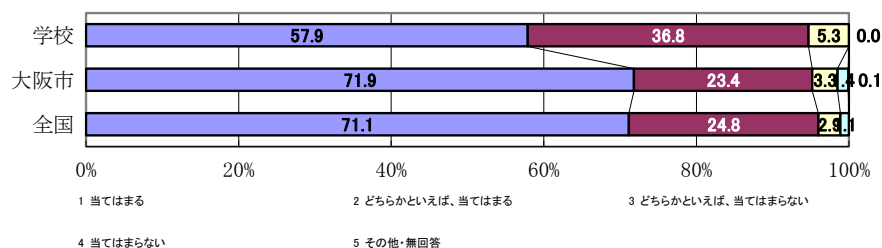
13

いじめは、どんな理由があつて
もいけないことだと思いますか



15

人の役に立つ人間になりたい
と思いますか



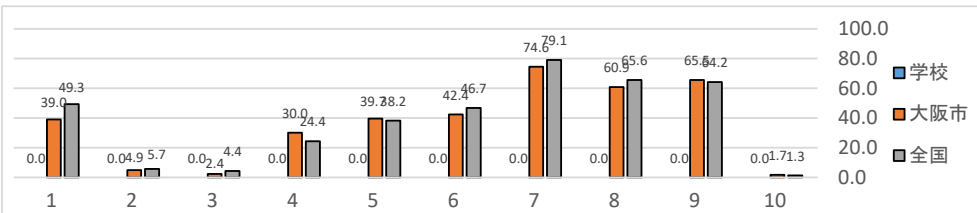
児童質問より(26)

質問番号

質問事項

26

放課後や週末に何をして
過ごすことが多いですか
(複数選択)



1 家で勉強や読書をしている

2 放課後子供教室や放課後児童クラブ(学童保育)に参加している

地域の活動に参加している(地域学校協働本部や地域住民などによる学習・体験プログラムを含む)

4 学習塾など学校や家以外の場所で勉強している

5 習い事(スポーツに関する習い事を除く)をしている

6 スポーツ(スポーツに関する習い事を含む)をしている

7 家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている

8 家族と過ごしている

9 友達と遊んでいる

10 1～9に当てはまるものがない

児童質問より

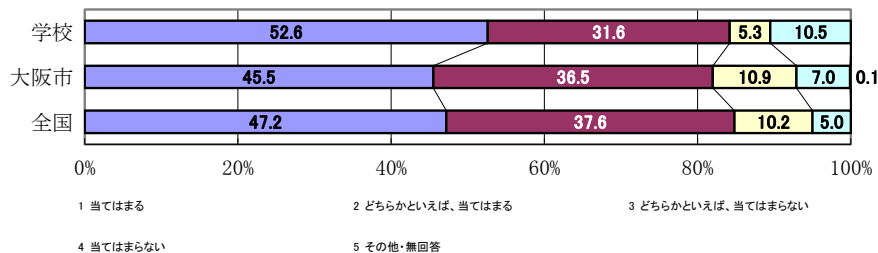
質問番号

質問事項

16

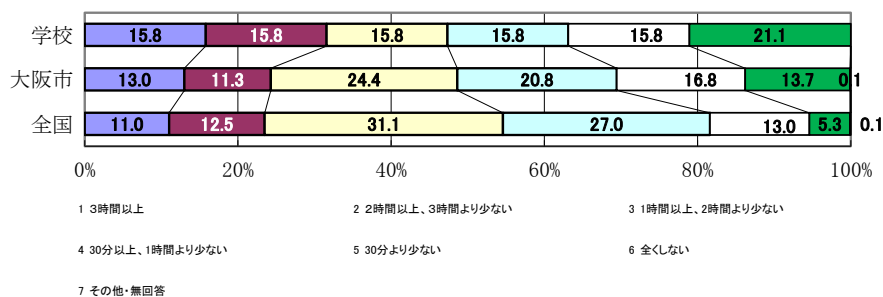
学校に行くのは楽しいと思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8



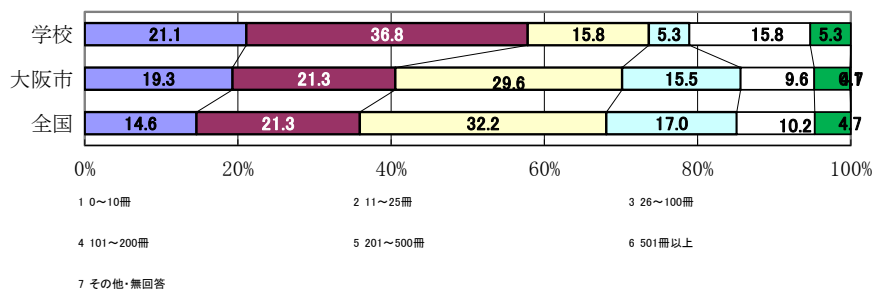
21

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



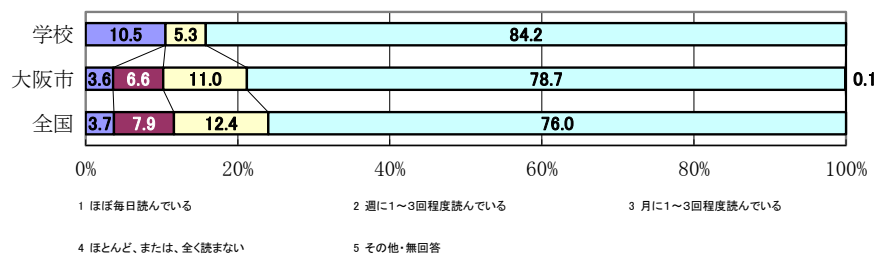
23

あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）



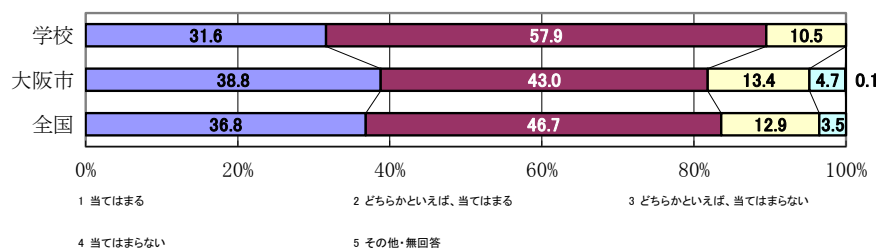
24

新聞を読んでいますか



25

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



児童質問より

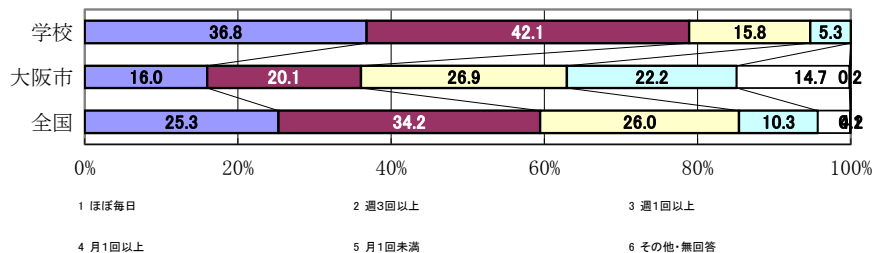
質問番号

質問事項

27

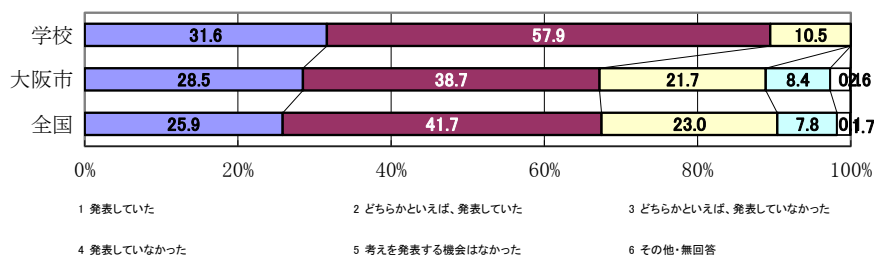
5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

1 2 3 4 5 6 7 8



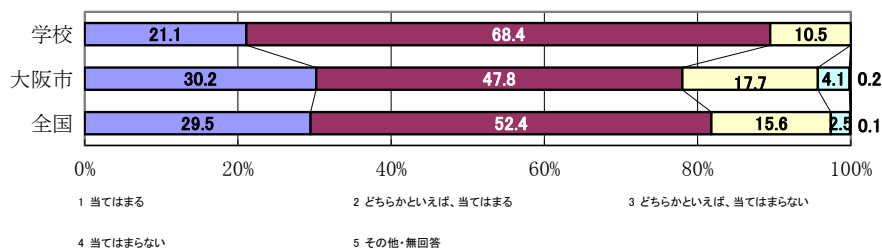
29

5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



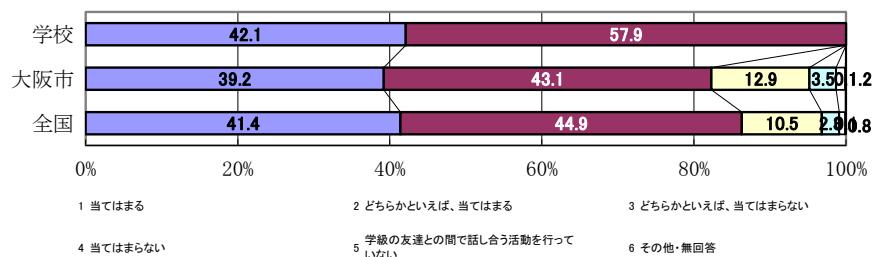
30

5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



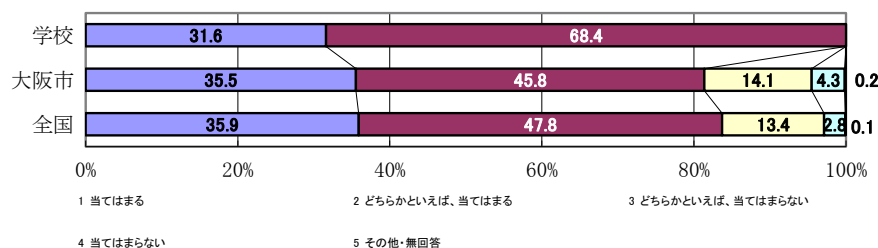
33

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



35

授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか



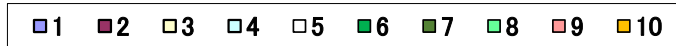
学校質問より

質問番号

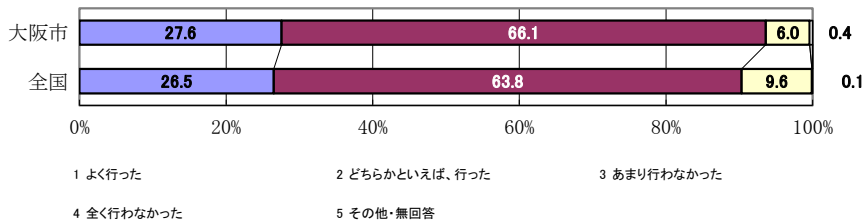
質問事項

30

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか



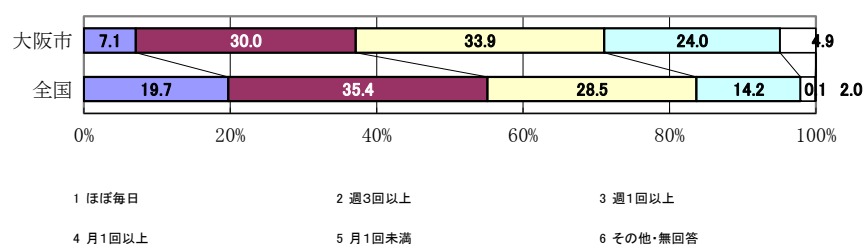
学校 「あまり行わなかった」を選択



58

調査対象学年の児童が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

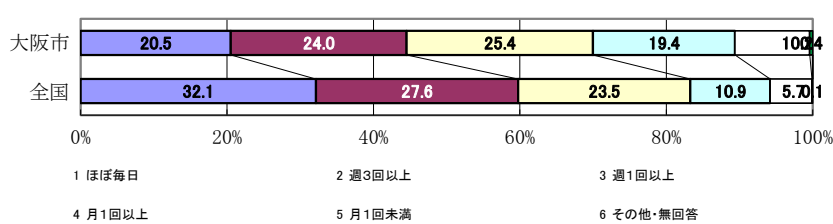
学校 「週3回以上」を選択



59

教職員と調査対象学年の児童がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

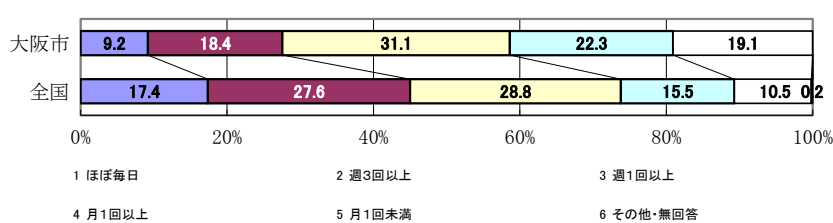
学校 「ほぼ毎日」を選択



60

調査対象学年の児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

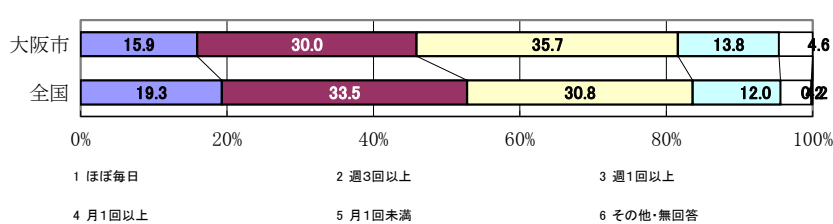
学校 「ほぼ毎日」を選択



61

調査対象学年の児童が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

学校 「ほぼ毎日」を選択



学校質問より

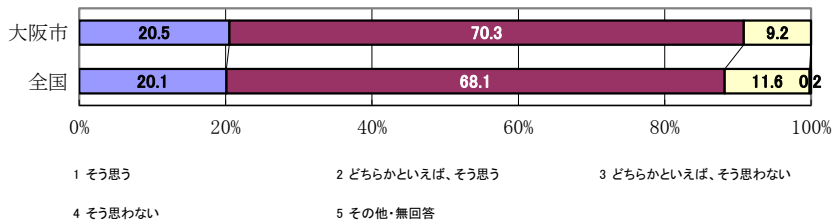
質問番号

質問事項

25

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

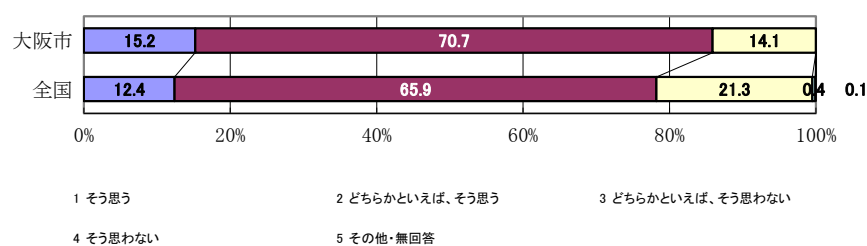
学校 「どちらかといえば、そう思わない」を選択



26

調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

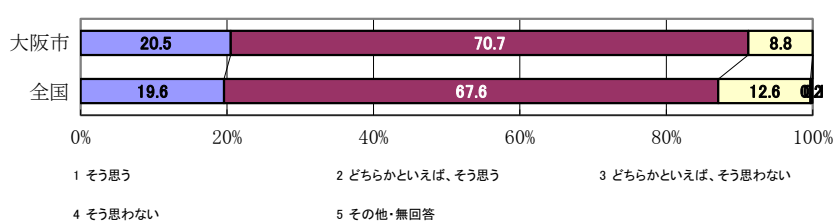
学校 「どちらかといえば、そう思わない」を選択



27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

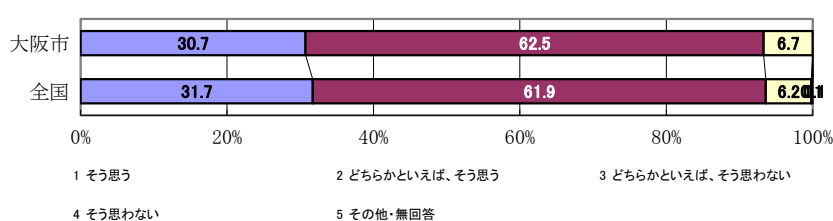
学校 「どちらかといえば、そう思わない」を選択



28

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



29

調査対象学年の児童は、授業では、自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動を行っていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思わない」を選択

